

試合名：関東地区ミニバスケットボール大会東村山JCカップ2012 女子決勝

日付：平成24年8月5日(日)

会場：東村山市民スポーツセンター

チームA

萩山小ミニバスケットボール
愛好会

(東村山市)

28 $\left\{ \begin{array}{l} 4 - 16 \\ 10 - 15 \\ 6 - 16 \\ 8 - 19 \end{array} \right\}$ 66

チームB

鳥沢ミニバスケットボール
スポーツ少年団

(山梨県)

戦評

女子決勝は、2年連続決勝進出の東村山市萩山小と、初出場の山梨県・鳥沢どちらが勝っても初優勝という対戦。1Q、萩山⑤レイアップで先制すると、すぐさま鳥沢⑧ロングシュートを入れかえず緊張感ある試合開始となった。萩山、鳥沢共に、3-2ゾーンで守りを固める。徐々に、鳥沢の攻撃リズムが出てきて、鳥沢⑦インサイドで追加点していく。萩山もシュートまでいくも、鳥沢のディフェンスの前に点差が開いていき、1Q4:16で鳥沢12点リードで終了。2Qに入り、硬さがとれない萩山は、開始30秒でタイムアウトをとる。しかし流れは変わらず、鳥沢④インサイド、ファーストブレイクで点差が広がる。2分間無得点の萩山も、萩山⑨ジャンプシュートで得点。萩山④パスカットからリズムが出てきたかに見えたが、鳥沢も主導権を握ろうと、一進一退の攻防で10:15。前半14:31と鳥沢が点差を17点に広げて前半を終える。

後半に入り、萩山④カットインで先制するも、鳥沢⑧ロングシュートが止まらない。萩山も1-3-1のゾーンのプレスをしても、なかなかボールが取れず、逆にスティールから鳥沢④が連続得点をしていき、3Q6:16と27点差に広げる。4Qに入ると、萩山④がドライブにいくも、鳥沢ディフェンスの厚い守りに阻まれる。鳥沢も④のドライブや⑧のロング、⑦のインサイドと得点していく。4Q8:19と鳥沢の攻撃力が上回り、鳥沢が初優勝を飾った。

最後まで積極的に攻め、ルーズボールに飛びつく両チーム、女子決勝にふさわしい好ゲームであった。



主審：飯塚 剛

副審：上杉 侑里子